

光沢寺中井幼稚園 令和4年度 学校関係者評価委員会		令和5年3月23日(木) 光沢寺中井幼稚園ホール
令和3年度の課題	1. 経験における仕事量及び内容に差、職員間の平等な職務及び協業の実現 2. ティーム保育をする保育者の意識の統一 3. 子どもたちの主体性を発揮させる保育の実現。その為の研修受講。	
自己点検・自己評価 項目の状況と結果について		
評価項目	評価内容	結果 及び 今後の課題
1. 発達援助の基本	教育課程 指導計画 記録 会議	○担任は、教育課程を踏まえた保育計画を立て実践してきた。○教育目標である“思いやり”と“やる気”の心を持ちながらいきいきと園生活を楽しむ子どもの姿に繋がった。○記録した子どもの姿から週末の評価反省が、翌週の“ねらい”に繋がり、それをパート保育補助員にも周知し、担当する保育者が共通の思いで保育が営めるように努めた。
2. 健康・安全	健康 食育 安全	○コロナ感染予防対策の為、衛生面では細やかな配慮をしてきた。○園内の感染症流行は最小限にとどまり、比較的健康に過ごせた。日常の運動あそびの時間を十分確保したことで、体力増進・健康維持にも繋がったと思われる。○食育に関しては、家庭への働きかけが充分に出来ず、様々な食材に触れる工夫も必要であった。○安全面は、バス乗降の配慮マニュアルに沿って安全点検を徹底した。また園庭の固定遊具に関して、全職員が日常的に点検し、危険箇所は専門業者の診断を受けて、安全管理に努めた。
3. 保育環境保育のあり方など	保育環境 保育のあり方 人権・性差 教育課程終了後の教育活動(預かり保育) 発達支援	○主体的な活動が出来るように、子どもたちに寄り添い、見通しが持てる保育環境を整えて、保育が展開するよう創意工夫してきた。○性差や年齢に囚われない「子どもの人権擁護」についての意識を常に持ち、日常の言動に気をつけてきた。○預かり保育は、担当保育者との連携を心がけた。家庭的な雰囲気好きなことを満足するまで行い充実感を持てる時間となった。○支援を要する子どもの保育は、関係機関との連携を図り、個別支援計画に基づきチーム保育を生かしながら関わりを工夫してきた。保護者の理解が得られないケースは、関係機関との連携まで至らず、対応の難しさが課題となった。
4. 子育て支援	保護者との関係 地域支援	○コロナ感染予防対策を図りながら行事を行い、保護者に子どもの成長する姿を見てもらう機会があった。行事後アンケートで成長を喜ぶ感想が多く、制限ある中でも理解して頂けたことが推察出来た。○未就園児の子育て支援を園庭で行い、コロナ禍で閉鎖された母親の悩みに寄り添い、育児の楽しさを伝える場となった。
5. 地域住民や関係機関との連携	地域・関係機関との連携、 幼小接続	○今年度も地域交流は難しく、唯一中井校区イベントのプレゼント作りを行った。○小学校との連携は、卒園前の連絡会のみ実施出来た。今後の課題は、「幼小の架け橋」が築けるように、教育課程の接続を図ることである。
6. 研修・資質向上	研修	○特に、人権研修や特別支援教育研修の受講は、1人ひとりを大切にする保育を考える機会となり、保育の質向上の意識に繋がったと思われる。
7. 運営管理	職員運営 守秘義務の遵守	○計画性、協調性、効率性をもって仕事に取り組む意識を高めてきた。各々分担した役割は責任をもって行い、協力体制が整ってきた。○専門職を担っているという意識をもって、守秘義務の遵守に努めた。

●本園の総合的な自己評価結果と今後の課題

- 年度初めから、経験年数3年未満の職員が、計画性、協調性、効率性をもって仕事に取り組む意識が高まるように、全職員で支え合ってきた。その結果、各々分担した役割は責任をもって行い、スムーズに仕事が進むべき協力体制が整ってきており、令和3年度の課題であった職員間の平等な職務及び協業は、かなり克服できたと思われる。
- 日々記録した子どもの姿から週末に評価反省し、翌週の“ねらい”を立て、必ずパート保育者にも周知し、共通の思いで保育が営めるように努めた。昨年度の課題は克服できている。
- 子どもたちが、主体的な活動をする為に、子どもたちの姿に寄り添い、見通しが持てる保育環境を整える視点を大切にしてきた。クラス担任は、より楽しく保育が展開するよう創意工夫をしてきた。食育に関する保育が今後の課題である。
- 支援を要する子どもたちは、保護者及び専門機関との連携が必要だと思われるが、保護者の理解が得られないケースは、連携まで至らず、対応の難しさを感じている。今後の課題である。
- 小学校との連携や接続の必要性を感じながらも、コロナ禍で実施できなかったことは、課題である。
- 子どもの人権や性差についての意識、守秘義務の遵守について、専門職としての意識がより持てるような研修の継続的な実施が来年度の課題である。

幼稚園関係者評価委員の所見

今回の話し合いで、幼稚園での日常生活が理解でき、又先生方の課題における自己点検自己評価、また話し合いでの意識の統一、そして努力されている事が、私達地域住民に理解できました。

【委員 K.H】

幼稚園関係者評価委員の所見

幼児教育・保育の現場の様子をお聴きすることができ、たいへん勉強になりました。配慮が必要な子どもについては、適切な対応ができれば何よりなのでしょうが、厳しい面もあるとのこと…先生方のお気持ちが伝わってきました。そして、子どもたちに愛情深く接しておられることが、よく分かりました。

【委員 J.H】

幼稚園関係者評価委員の所見

お話を聞いていて、課題を見つけそれに取り組んでいる様子がよく伺えました。幼稚園に子どもを通わせている保護者として安心できました。またコロナ禍の厳しい中、保護者の要望にも応えてもらえ、子ども達の成長をたくさん感じる事ができ、とても満足しています。

【委員 M.A】

幼稚園関係者評価委員の所見

コロナ禍の中、色々と苦心され保育活動を行って居られたのだと感じました。ありがとうございます。これからも子ども達の為よろしくお願い致します。

【委員 M.S】